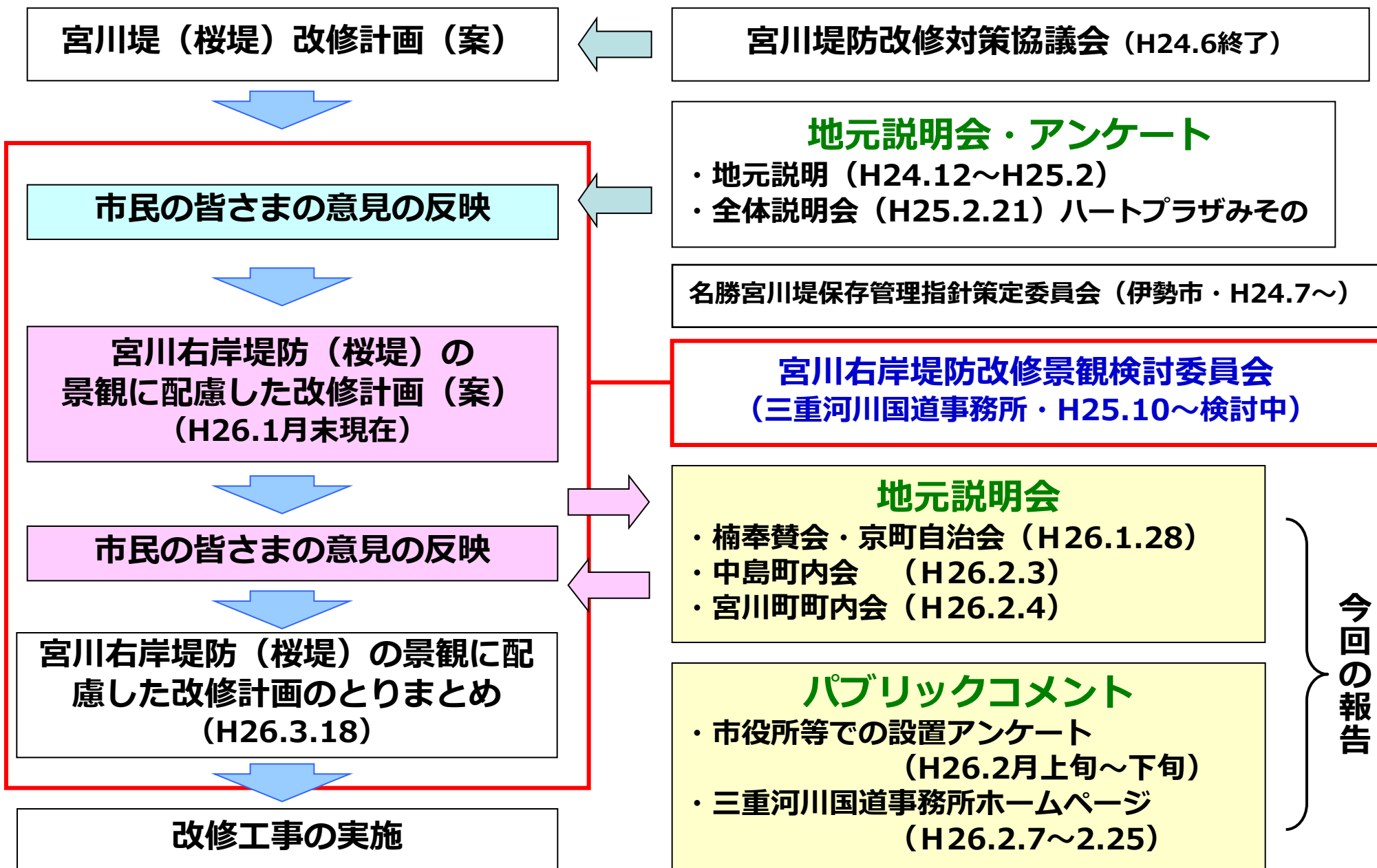


市民意見の集約について（地元説明会、パブリックコメント）

堤防整備
計画区間

平成26年 3月18日(火)

国土交通省三重河川国道事務所



今回の報告

■ 1. 地元説明会

地元説明会

- ・ 楠奉賛会・京町自治会 (H26.1.28)
- ・ 中島町内会 (H26.2.3)
- ・ 宮川町町内会 (H26.2.4)

(実施状況例：楠奉賛会・京町自治会 1/28)



■ 2. 改修計画案閲覧

(1) 改修計画(案)とアンケート設置箇所

- 伊勢市役所本庁舎・二見支所・小俣支所・御菌支所
- 伊勢図書館・小俣図書館
- 三重河川国道事務所・宮川出張所

(2) 閲覧期間

- H26年2月初旬～下旬の約1ヶ月間

アンケート設置状況写真



1. ホームページ掲載状況



トップ > 宮川右岸堤防(桜堤)の景観に配慮した改修計画に関するアンケート

宮川右岸堤防(桜堤)の景観に配慮した改修計画(案)についてご意見を募集します

宮川堤は、昭和12年に三重県の名勝指定を受けており、日本さくら名所100選にも指定されています。しかし、本区間は堤防断面が不足し、洪水時に堤防沿いに漏水やガマが発生することがあります。この度、流域の安全・安心な暮らしの確保のため、堤防改修を行うこととなりました。
宮川右岸堤防の景観に配慮した改修計画の概要をご覧ください、本区間を市民の皆様にご覧いただき、宮川堤の景観に配慮した安全な堤防にするため、皆様の貴重なご意見をお寄せください。→ご意見は [こちら](#)



※ いただきましたご意見については、宮川右岸堤防(桜堤)改修計画以外の目的に使用することはありません。
 ※ 個人情報については、無断で第三者に提供、開示することは、一切ありません。

[ページトップへ](#)

2. 意見募集ページ(アンケート)

募集期間：H26年2月7日～2月25日

宮川右岸堤防(桜堤)の景観に配慮した改修計画に関するアンケート

皆さまのご意見をお聞かせください(回答用紙) **締め切り:平成26年2月25日**

今後、宮川を市民に親しまれる桜の名所に配慮した安全な堤防にするため、皆さまの貴重なご意見をお寄せください。頂いたご意見は、担当部局において取りまとめ、改修計画の資料とさせていただきます。

1. 宮川堤が改修され治水安全性が高まることについてどのように感じますか？(1つ選択)

2. 桜や桜堤の景観の保全方法についてどのように感じますか？(1つ選択)

3. もし桜以外の木も植えるとしたら何が良いと思いますか？(いくつでも選択)

ア. マツ イ. ヤナギ ウ. クスノキ
 エ. モミジ オ. 桜以外植えない

4. 歴史的・文化的施設(突出堤、渡場跡、境楠、大日権現社、ドンデン場等)の保全についてどのように感じますか？(1つ選択)

5. 散策路、階段、スロープ、駐車場などの整備についてどのように感じますか？(1つ選択)

6. 自由意見(宮川堤の改修について、その他ご意見などありましたら自由にお書き願います)

7. お答えいただいた方について差し支えない範囲でお答え願います。

(1)性別(どちらかを選択)
 (2)年齢(1つ選択)
 (3)伊勢市の居住年数(1つ選択)
 (4)宮川堤の利用(1つ選択)

ご協力ありがとうございました。より良い宮川堤改修のための参考とさせていただきます。

[ページトップへ](#)

宮川右岸堤防(桜堤)の景観に配慮した改修計画(案)についてご意見を募集します

はじめに

宮川は、流域面積 920km²、幹線道路延長 91km の三重県内最大の河川です。宮川流域は豊後を中心に農業をもちとする地域であるため、沿川住民は水害との戦いの歴史を積み重ねてきました。このため、三重河川国道事務所では、流域の安全・安心な暮らしの確保のため、宮川右岸堤防(桜堤)の改修工事を進めています。

宮川堤防の歴史的・景観的特長

- 宮川堤防は、流域の皆さまの愛着ある場所を擁しながら整備することが望まれます。
- 宮川堤防は、庄内村時代からの堤防として様々な歴史・重要な名跡に彩られています。
- 宮川堤防の年間利用者約 17 万人(推定)、花火大会の会場としても利用されています。
- さらには、突出し堤、連続大目埦堤防、伊勢神宮に関連した遺跡(桜の渡し、稲の渡し)や幹木並路があるなど、文化・歴史の遺産が数多くあります。

宮川堤防の歴史的・景観的特長

- 宮川堤防の改修は、流域の皆さまの愛着ある場所を擁しながら整備することが望まれます。
- 宮川堤防は、庄内村時代からの堤防として様々な歴史・重要な名跡に彩られています。
- 宮川堤防の年間利用者約 17 万人(推定)、花火大会の会場としても利用されています。
- さらには、突出し堤、連続大目埦堤防、伊勢神宮に関連した遺跡(桜の渡し、稲の渡し)や幹木並路があるなど、文化・歴史の遺産が数多くあります。

宮川堤防の突出し堤

- 宮川堤防の改修は、突出し堤の水循環、環境機能を残しながら整備することが望まれます。
- 近世につくられた突出し堤は、洪水の恐れを越えて本道を走る複合的な治水システムであり、現在もその機能を果たしています。
- 突出し堤はとともに伊勢神宮にまつわる歴史と文化を感じさせる重要な景観要素となっています。

宮川堤防の桜について

- 宮川堤防は、歴史を刻む「いにしへの記憶」とされてきました。現在の宮川堤防の桜は、老齢樹を揃えているので、枯死や虫食により、堤防の躯体化を恐れています。

宮川堤防の現状と課題

- 宮川堤防は、昔から大雨による大きな被害が頻発も発生してきています。
- 近年では、平成 16 年 9 月洪水(総雨量以来最大)により、中農・大農地区に大きな被害があったことから、治水事業を実施しましたが、まだ、河川の整備が必要とされています。
- 宮川の洪水時の水位は、伊勢市街地よりもかなり高いため、万一、堤防が壊れてしまうと、洪水が浸透して、伊勢市街地、外倉まで、伊勢市全域に甚大な被害が及ぶこととなります。

宮川堤防改修の基本方針

宮川堤防の改修は、歴史・景観・防災の観点から総合的に見直し、河川の多様な自然環境や地域の歴史・歴史等に配慮しながら、堤防を強化する必要があります。「河川の治水と防災の両立」は、見直しのあるべき姿を「コンセプト」に宮川堤防の改修を進めています。

宮川右岸堤防改修の基本方針

- まちづくりの一体となった堤防改修
- 安全な堤防を整備しながら、「毎」も安全する。
- 周辺地域の「にぎわい・活性化」につながる。
- 歴史的な景観の維持・保全を図る。
- 伊勢市街地と河川との距離を短縮する。
- 河川の治水と防災の両立を図る。
- 河川の治水と防災の両立を図る。
- 河川の治水と防災の両立を図る。

宮川と伊勢市街地の横断イメージ

現在の宮川堤防の安全性について

- 宮川堤防は安全性が不足しているため、早急に堤防を強化する必要があります。
- 現在の宮川堤防は、計画に対して堤防が不足しています。
- 近年も洪水時に堤防が「カマ」が壊れて、濁水等の災害が発生しています。

宮川堤防の根について

宮川堤防は、歴史を刻む「いにしへの記憶」とされてきました。現在の宮川堤防の桜は、老齢樹を揃えているので、枯死や虫食により、堤防の躯体化を恐れています。

堤防改修計画(案) 下流(宮川橋から度会橋)

宮川堤防の改修は、歴史と文化が織りなす新しい街の目録増として機能するよう周辺環境と一体となった整備を目指します。

桜の渡し・幹木並路の整備

- 歴史・文化の宝庫(幹木の渡し)を彩るしんがれ並木道を復元し、新しい街を創出します。

桜堤区間の堤防整備

- 歴史・文化の宝庫(幹木の渡し)を彩るしんがれ並木道を復元し、新しい街を創出します。

堤防の根について

- 宮川堤防は、歴史を刻む「いにしへの記憶」とされてきました。現在の宮川堤防の桜は、老齢樹を揃えているので、枯死や虫食により、堤防の躯体化を恐れています。

堤防改修計画(案) 上流(度会橋から漢問堤)

度会橋下流堤防の再整備

度会橋上流堤防の再整備

宮川堤防の根について

宮川堤防の突出し堤

宮川堤防の桜について

宮川堤防の突出し堤

宮川堤防の桜について

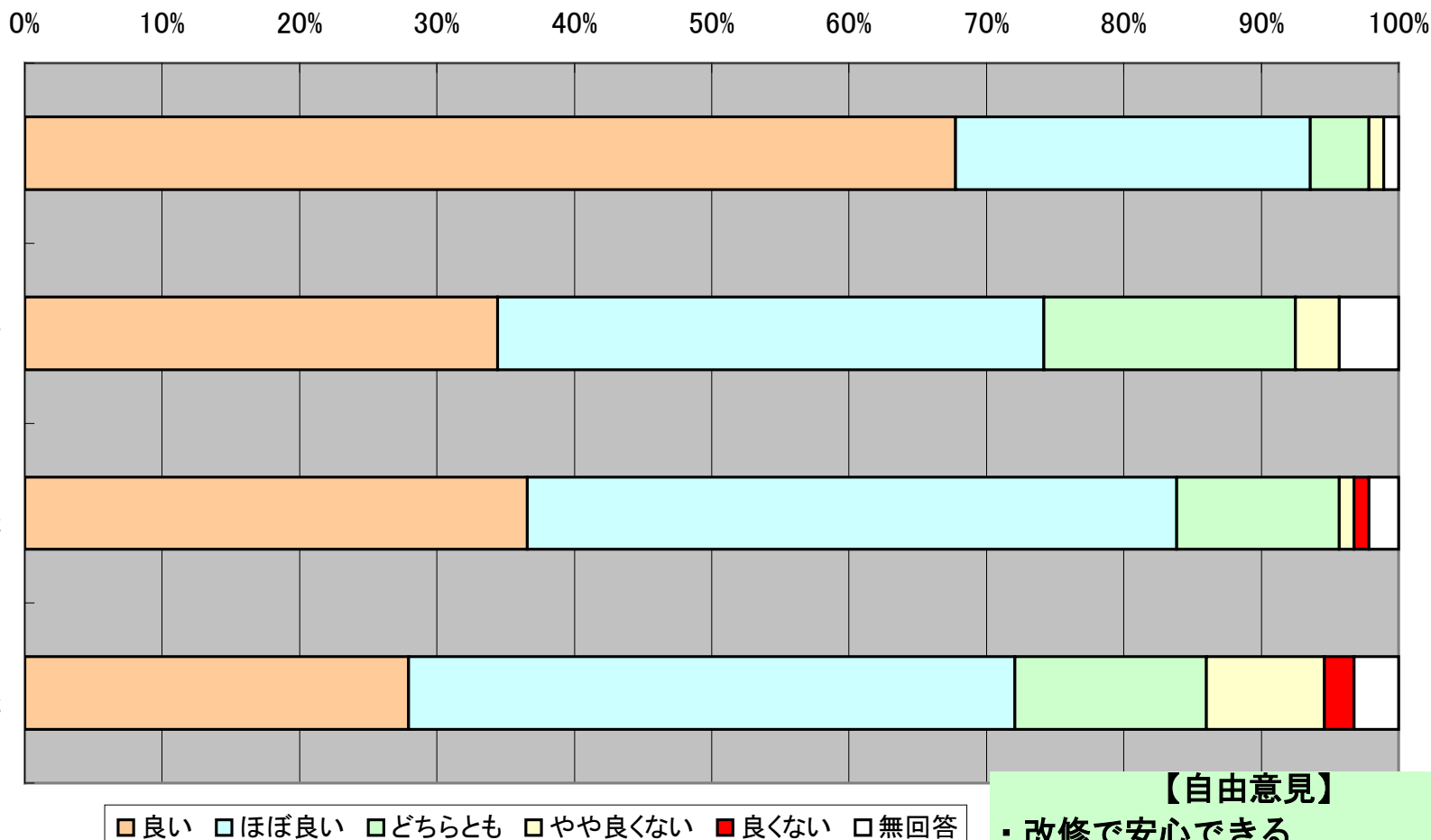
宮川堤防の突出し堤

宮川堤防の桜について

宮川堤防の突出し堤

宮川堤防の桜について

宮川堤改修原案に対するアンケート結果
(計93人 各項目につき5択単数回答)

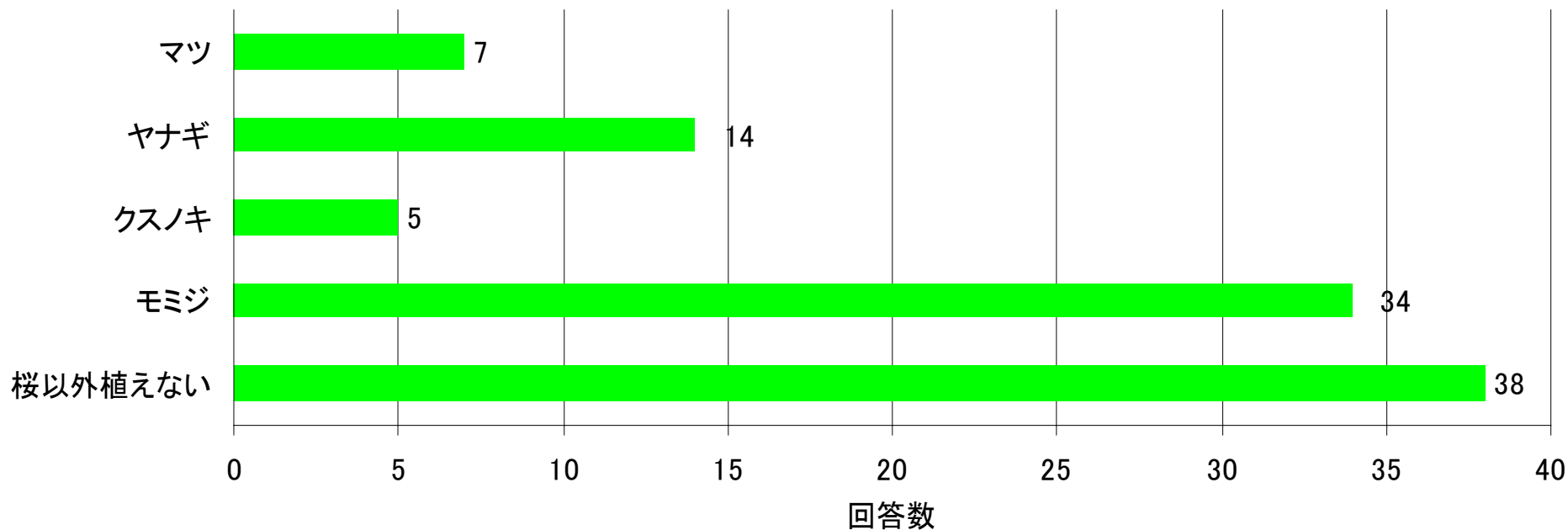


【自由意見】

- ・ 改修で安心できる
- ・ 桜の新植をしてほしい
- ・ 天端の避難利用はできないか
- ・ スロープ増設等を望む
- ・ ダンプは安全に通行してほしい

「良い」「ほぼ良い」の合計でどの項目も7割以上となり、概ねご理解を得られた。特に治水安全対策については、9割を超えた。

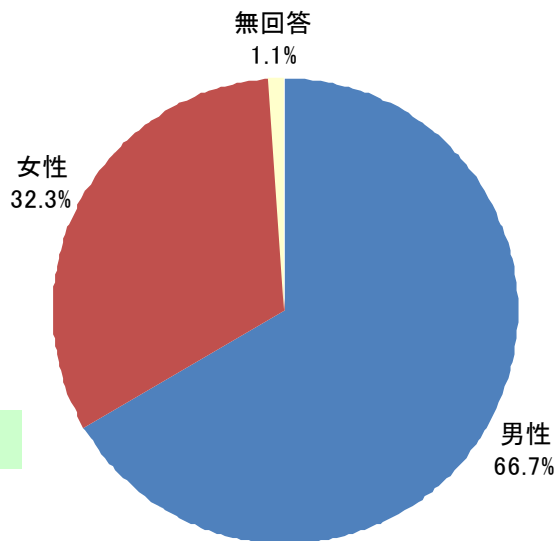
Q3桜以外の植樹候補(計93人 5択複数回答)



・ 桜以外は植えないという意見が最も多い結果であった。

Q7(1)回答者の性別

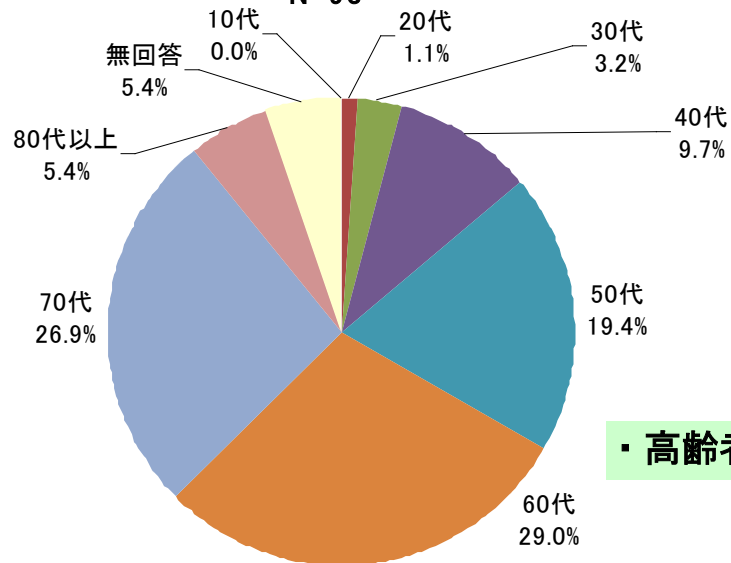
N=93



・ 男性が2/3

Q7(2)回答者の年代

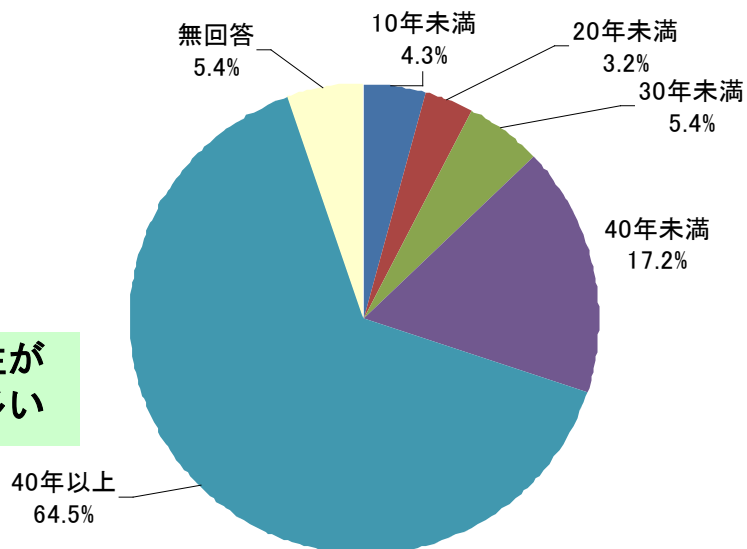
N=93



・ 高齢者が多い

Q7(3)回答者の伊勢市居住年数

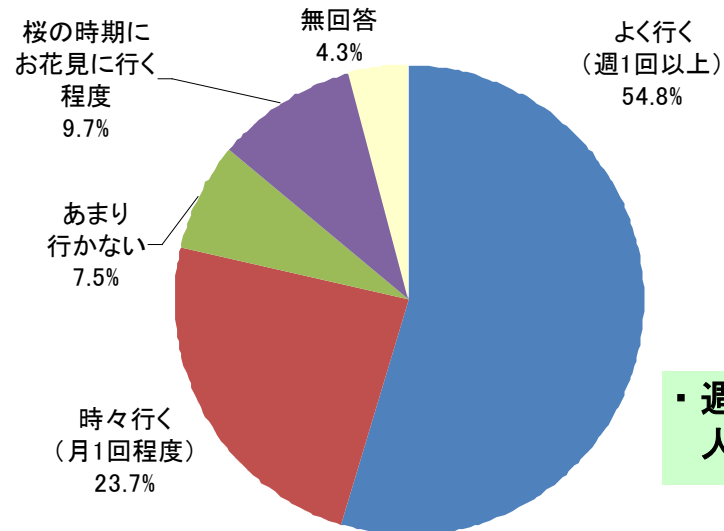
N=93



・ 伊勢市在住が長い人が多い

Q7(4)回答者の宮川堤利用頻度

N=93



・ 週1回以上行く人が半数以上